

題材名

自分をさぐろう (二分の一成人式)
～過去・今・未来を見つめて～

令和4年10月20日(木)5校時

1 題材について

<題材について>

本題材は研究主題「自分事として課題に向き合い、生活をよりよくしようと工夫する子供の育成」のもと、自己の生き方を見つめ、これからの未来に向かってよりよく生きる工夫・選択をしようとする姿勢をもたせるものである。家族へのインタビューや自身との対話などの自分を探る活動を通して、課題に対して情報を収集・整理し、何をどのように表現するか、主体的に考え、実践する態度の育成をねらいとしている。

<児童について>

	よく当てはまる	当てはまる
総合的な学習の時間は好きですか。	54.2%	37.5%
自分に良いところがあると思いますか。	29.2%	45.8%
自分の将来のことを考えていますか。	41.7%	25%
友達と考えを交流することの良さを感じますか。	45.8%	45.8%
自分の考えや思っていることを表現できますか。	16.7%	25%

「総合的な学習の時間は好き」と肯定的に回答した児童は91.7%と多い。このことから、本学級の児童は、総合的な学習の時間に意欲的に取り組んでいるとみられる。また、友達と考えを交流することの重要性を感じている児童が91.6%と多い。一方で、自分の考えを表現することに苦手意識を抱えている児童が58.3%と多く、自己表現を十分にさせる場面の設定が必要である。

<指導にあたって>

生まれてから10年という節目の年を迎える児童にとって、改めて自己の成長に気付き、未来への展望をもつきっかけとなるように、「自分をさぐろう」という題材を設定し、以下の工夫を行う。

【課題を自分事とする工夫】

- 児童が主体的に学習を進めることができるよう、現状と理想の姿との対比から課題を見出し、児童と共に学習課題を設定する。題材のゴールとそのときの児童の姿を共有し、学習の見通しをもたせる。その見通しのもと、これまでの学習経験や他教科での知識・技能を活用し、学習に取り組ませる。
- 活動の目的を明確にして、情報収集や資料等の作成を自覚的に行わせる。どんな情報が集まるか、課題解決のために必要なものが何かについて意識的な情報収集になるよう設定する。

【学び合いの工夫】

- 課題解決のために情報を収集したり、必要なものを作成したりする活動において、成果物を交流したり、アドバイスをし合ったりすることで、よりよいものを協働的に創造させる。
- お互いの良さを認め合う活動を通して、自己肯定感を育み、進んで自己を表現しようとする意欲につなげる。

【学習評価の工夫】

- 課題解決で付いた力や新たな課題をポートフォリオでまとめることで、学習前と学習後の自分の考え方を比較しながら、新しい考えが生まれたところや考えが深まったところなどについて振り返ることができるようにする。(自己評価)
- 発表や成果物を保護者に公開し、家庭からの感想や気付きをもらうことで、学校での学習と家庭とを往還させ、家族からも評価が得られるようにする。(他者評価)

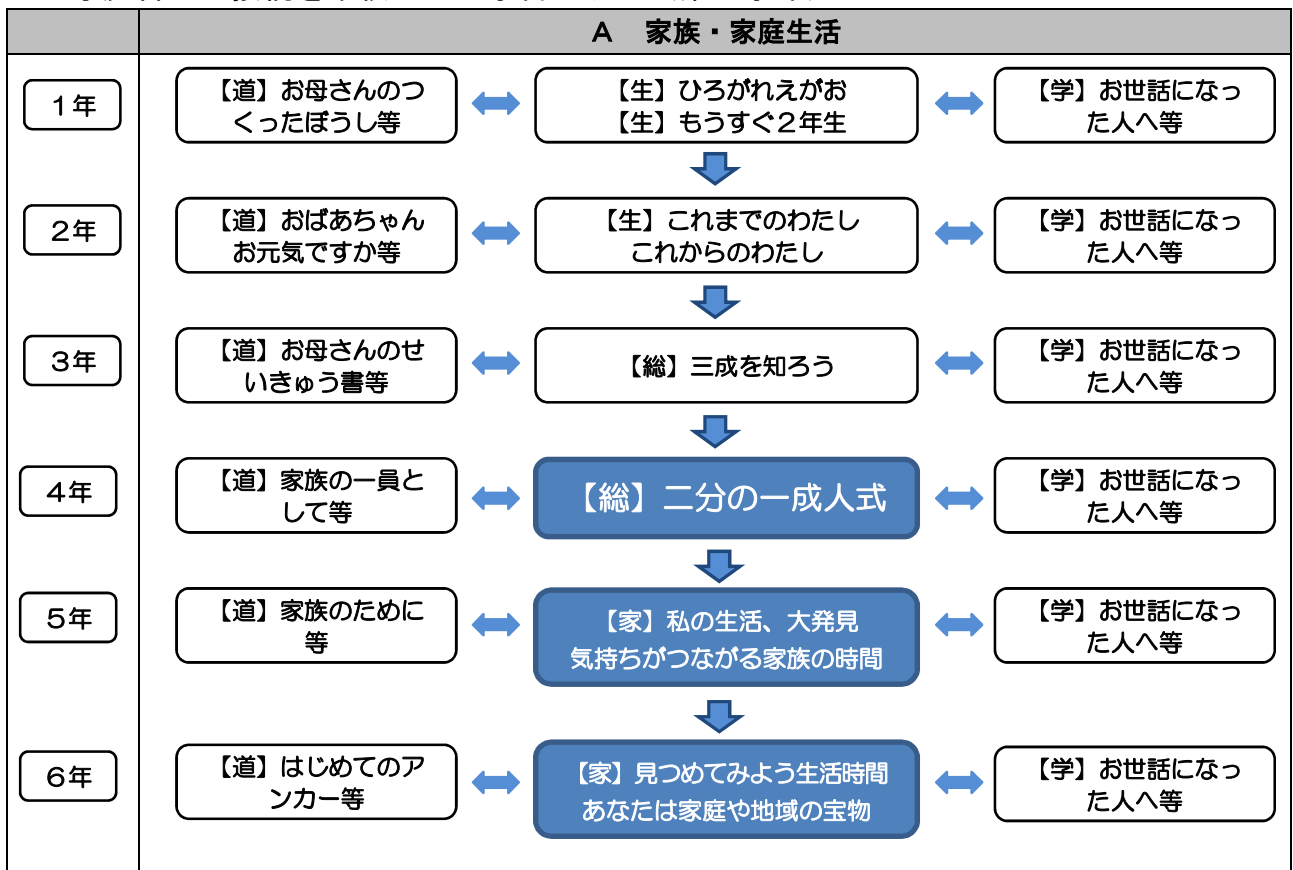
2 題材の目標

- (1) 自己の成長が周りの人に支えられていることや自分にも家族のためにできることがあることを理解すると共に、それらに気付くことができる探求的な学習の良さを理解する。
[知識及び技能]
- (2) 自分のことを理解できていないことや未来について自己決定したことがないことから課題を見出し、その解決のために意識的に情報を収集、選択し、学習を通して感じたことや考えたことについて自己表現する。
[思考力、判断力、表現力等]
- (3) 自己の生き方を考えて表現するために、学習の見通しをもち、協働的に取り組むとともに、自分の良さを生かして周りの人のためにできることを進んで見付けようとする。
[学びに向かう力、人間性等]

3 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 情報収集を通して、自己の成長と周りの人の思いに気付き、支えられてきたことを理解している。	① 現状と理想とする姿の対比から課題を見出し、解決のために方法を選択したり情報収集したりしている。	① 自己の生き方を考えて表現するために、学習の見通しをもち、協働的に取り組むとともに、自分の良さを生かして周りの人のためにできることを進んで見付けようとしている。
② 目的をもって課題解決に取り組む学習過程を通して、探求的な学習の良さを理解している。	② 学習前と後の自分を俯瞰して成長を見つめ、自己の成長と展望が相手に伝わるように表現している。	

4 家庭科への接続を中核にした学習マップ（第4学年）



5 指導と評価の計画（全 25 時間）（本時 13/25 時間）

学習過程	○学習活動 ・ 学習内容 ●本時	○指導上の工夫	評価規準・評価方法 (評価方法)
題材を貫く課題発見	<p>「自分の過去・今・未来を見つめよう」</p> <p>○課題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分のことについて知らないことや分からないことがあることに課題意識をもつ。(1) 	<p>○小さい頃のことや自分の未来について、自分のことでも知らないことや考えたことがないことがあることに気付かせる。</p>	<p>【主体的に学習に取り組む態度①】</p> <p>次の学習の見通しをもつために、他者と協働して学習の計画を立てようとしている。 (行動観察)</p>
①計画 ↓実践 ↓評価・改善	<p>「過去から自分を探ろう」</p> <p>○自分の過去について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 小さい頃のできごとや周りの人の思いを知るための計画を立てる。(1) インタビューで聞く内容を整理する。(1) 集めた情報を整理しながら、過去のできごととそのときの自分や家族の思いを年表にまとめる。(2) 感じたことを交流し、振り返る。(1) 	<p>○事実だけでなく、家族の思いにふれることで、自分の成長が家族によって支えられていることや自らの命の大切さに気付かせる。</p> <p>○時系列でまとめることで、過去の出来事と自分の今の姿につながりがあることを感じさせる。</p>	<p>【知識・技能①】</p> <p>年表にまとめ、自己の成長が周りの人の支えによるものであることを理解している。 (ワークシート、振り返り)</p>
②計画 ↓実践 ↓評価・改善	<p>「今の自分を見つめ、未来を考えよう」</p> <p>○課題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 10年後の成人に向けて、自分がなりたい姿を想像させる。(1) 今の自分が持っている良さについて考えたり調べたりする。(1) 身の回りの大人の価値観や就きたい職業に必要な資質を調べる。(3) 今の自分の良さとつなげて、これからの自分に必要なことをまとめる。(1) <p>●これからの展望を交流し、学習前の自分の考えや友達の考えをもとに学習を振り返る。(1) 【本時】</p> <p>○自分の思いを表現しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 家族への感謝とこれからの思いを伝える方法を考える。(1) 家族や未来の自分に向けた手紙を作成・推敲する。(2) これまでの学習を振り返る。(1) 	<p>○様々な職業を想起し、どのような資質が求められるのか考えさせる。</p> <p>○友達や家族に聞く等して多角的に探る。</p> <p>○GT や映像、記事などから生き方の指針を具体化させる。 【ICT】</p> <p>○ワークシートで系統的に整理させる。</p> <p>○学習前の考えと今の考えを比較して振り返るよう支援する。</p> <p>○これまでの学習での振り返りを想起させながら、自分の思いを伝える文章を書けるように支援する。</p>	<p>【思考・判断・表現①】</p> <p>これからの自分の生き方を考えるという課題について解決のために方法を選択したり情報収集したりしている。(ワークシート)</p> <p>【思考・判断・表現②】</p> <p>これまでの学習を通して感じたことや伝えたいことを適切に表現している。 (行動観察、成果物)</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">③計画 ↓実践 ↓評価・改善</p>	<p>「二分の一成人式をしよう」</p> <p>○二分の一成人式を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・式に向けて準備をする。(2) ・自分の成長と未来への展望をお家の人に向けて発表する。(2) <p>「感謝を形に表そう」</p> <p>○成長を支えてくれたお家の人のためにできることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族のために自分ができていることを計画する。(2) ・家族のために立てた計画を実行する。(各家庭) ・活動を振り返り、さらにできるようになりたいことを考える。(1) 	<p>○児童自身が主体的に会に関われるように進行や役割を児童と共に設定する。</p> <p>○保護者に公開し、子供の成長の喜びを分かち合うとともに、未来に目を向けるきっかけになるよう支援する。</p> <p>○周りの人の生活をよりよくするためにできそうなことを他教科と関連させて考えさせる。</p> <p>○実践を通して、自己肯定感を高めるとともに改善点や新たな課題に目を向けさせる。</p> <p>【ICT】</p>	<p>【思考・判断・表現②】</p> <p>相手意識をもって自己の成長と展望を適切に表現している。(行動観察)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度①】</p> <p>自分のよさを生かしながら自分にできることを見つけようとしている。(行動観察, ワークシート)</p> <p>【知識・理解②】</p> <p>日常で実践できることがあることに気付き、探究的な学習の良さを理解している。(行動観察, 振り返り)</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">題材を通しての評価・改善</p>	<p>○学習をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習を通しての自分の変容を振り返る。(1) 	<p>○自己の成長と将来の姿について学習前の自分の考え方と比較して振り返らせる。</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p>【期待する題材の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当たり前だと思っていた自分たちの成長は、お家の人がたくさんで支えてくれていることに気が付きました。そして自分たちが思っている以上に心配したり、喜んだりしてくれていることを知りました。これからは恩返しとして、家族のためにできることに進んで取り組みたいです。 ・これまでの自分は将来のことを考えて生活していなかったけど、自分のことを自分で決めるためにこの学習で考えたことで、どんな力を付けていきたいのか、何のために付けたいのかははっきりしました。この学習をした自分の10年後が楽しみになりました。 ・「二分の一成人式」を通して、お家の人への感謝や自分がこれからどう生きていきたいのかを考えて表現することができました。自分の良さや、それを活かして自分たちにできることも見つかりました。大人になるまでに自分ができていることは人のために自分が進んで行動することだと思ったので、がんばりたいです。 </div>

6 本時の展開

(1) 本時の目標

自分の生き方の展望について、交流を通して考えを明確にし、学習前の自分の姿と今の姿を比較して考えの深まりや自己の成長を感じる。

(2) 本時の展開

学習活動 「主な発問」(思考の場) ・予想される児童の反応	◇指導上の留意事項 ◆「努力を要する」状況と判断した 児童への指導の手立て	○評価規準 (評価方法)
1. めあてを設定する。		
㊦ これからの自分について考えたことを交流して、自分を見つめよう。		
2. これからの自分に必要な力や資質を交流する。(グループ)	◇自己実現のためにどのような力や資質が必要なのか、なぜその力が必要なのか表現させる。 ◇グループで分析し、共通点や似ているものを見付けさせる。 ◆友達の考えを聞いて、真似したいところや良いと思ったところを見つけたり、付け加えたりしながら交流させる。	○自分の生き方やこれから力を入れていきたいことについて進んで表現するとともに、学習後の自分の考えの深まりに気が付いている。 (ワークシート, 行動観察)
3. 自分の生活とつなげて、できることを考える。(全体)	◇これからの生活で力を入れたいことを具体的な場面を浮かべながら考えさせる。	
4. 学習のまとめと振り返りをする。	◇学習前の自分と本時の学習後の自分を比較させて振り返らせる。 ◇自分たちが自己について探ろうと活動することで、自己を見つめて生き方を考えたり決めたりする事ができるようになったことに気付かせる。	
5. 次時の学習の見通しをもつ。	◇これまでの学習をもとに、二分の一人式で保護者にどのような思いを伝えたいか見通しをもたせる。	

【期待する本時の振り返り】

- ・わたしはこれから努力ができる大人になるために普段の勉強でも目標を決めて続けられる人になりたいと思いました。これまでのわたしは、自分のことについて説明ができるほど「何が得意か」「これからどう生きていきたいか」を見つめられていなかったけど、学習を通して自分の将来について考え、表現することができるようになりました。
- ・「自分をさぐる」の意味が最初は分からなかったけど、自分たちで調べたり考えたりしていくうちに、自分のことを見つめて、自分の生き方のことを考えることができるようになりました。これから高学年や中学生になっても、自分のことは自分で考えたり選んだりできる自分でいたいです。

(3) 板書計画

自分をさぐる (二分の一成人式) ~過去・今・未来を見つめて~

㊦ これからの自分について考えたことを交流して、自分を見つめよう。

㊦

どんな力が必要かな？

その力を実現するために

努力できる

- ・ 苦手な勉強がわかるようになるまで自主学習をする。
- ・ お手本にしたい6年生や大人の人を見つけてまねをする。

コミュニケーション力



- ・ だれにでもあいさつをする。
- ・ いろんな人に自分から話しかける。

責任感

- ・ 当番や係の仕事をやりきる。
- ・ 委員会が始まったらみんなのためにできることを考える。

チャレンジする

- ・ 係で決まっていなくても進んでやってみる。
- ・ おうちでお母さんのためにできることを見つけて取り組む。